



# DX Support Training Service ChatGPT業務活用編

---

生成AIの進化と助成金制度を追い風に、今は企業がAI人材を育成する絶好の機会です。

# 会社概要



• 会社名	株式会社iGENE
• 所在地	〒107-0061 東京都港区北青山1-2-3 青山ビル9F
• 事業内容	研修事業
• 資本金	10,000千円
• 設立	2016年10月
• ホームページ	<a href="https://www.igene.co.jp/">https://www.igene.co.jp/</a>

# サービス概要（シリーズコンセプト）



映像制作編

AI活用実践編

業務効率化編

生成AI社内浸透編

生成AI定着編

ChatGPT業務活用編

「DX化支援研修サービス」シリーズは、DX・生成AI活用を「知る」段階から「現場で使える」段階へ、さらに「組織に定着」する段階まで、段階的に引き上げる研修シリーズです。

各編は単体での導入も可能ですが、シリーズとして導入することで、

「スキル習得 → 業務適用 → 組織浸透 → 定着運用」の流れを一気通貫で構築できます。

# このシリーズで実現できること

本シリーズは、生成AIを安全に活用しながら業務を標準化・効率化して生産性を高め、個人の活用に留めず組織全体で再現・定着する運用まで実現します。



## 現場の生産性向上

業務のムダや手戻りを減らし、  
標準化と効率化を実現



## 生成AIの安全運用

使いどころ・注意点・判断手順を理解し、  
リスクを下げて活用



## 社内展開・定着

活用が一部の人で止まらず、  
組織で再現できる運用に落とし込み

# ご利用企業

製造・小売・サービス・医療/介護など、幅広い業種の企業・団体にご導入いただいています。



**AIを使っているが活用に不安**

主に複数のAIツールの組み合わせを学ぶ



**業務が忙しく、余裕がない**

AIで業務効率化し、時間とリソースを最大化



**現場で活かせるAIスキルを習得**

実践AIスキルを短時間で習得し即戦力に

# 当社が選ばれる理由

01

## わかりやすい内容構成

共感もてるストーリーの採用により、AI活用のイメージが伝わり、実践で使えます

02

## 目的別に選べるコース

実務で活かせるスキル習得のため、目的別に最適コースを用意しました

03

## 直感型LMS

多くの受講者様から直感的で分かりやすいと高く評価されており、安心して利用できます

04

## 実務で活用できるAIを厳選

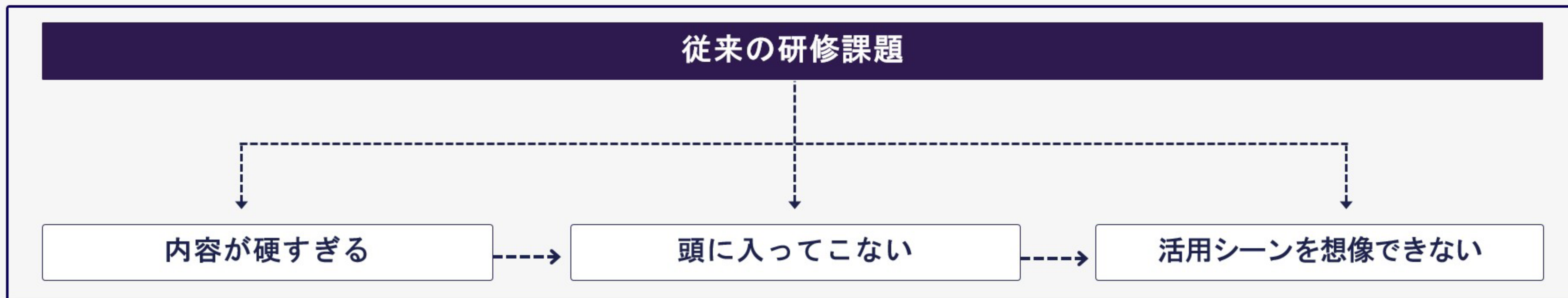
数多のAIから実務利用できるAIを厳選。AIの単体利用から掛け合わせた利用方法までを身につけられます

05

## 本研修のストーリー一部分の特徴

現場の「あるある」をストーリーで追体験し、失敗ポイントと改善の型を自分ごととして理解できる構成です

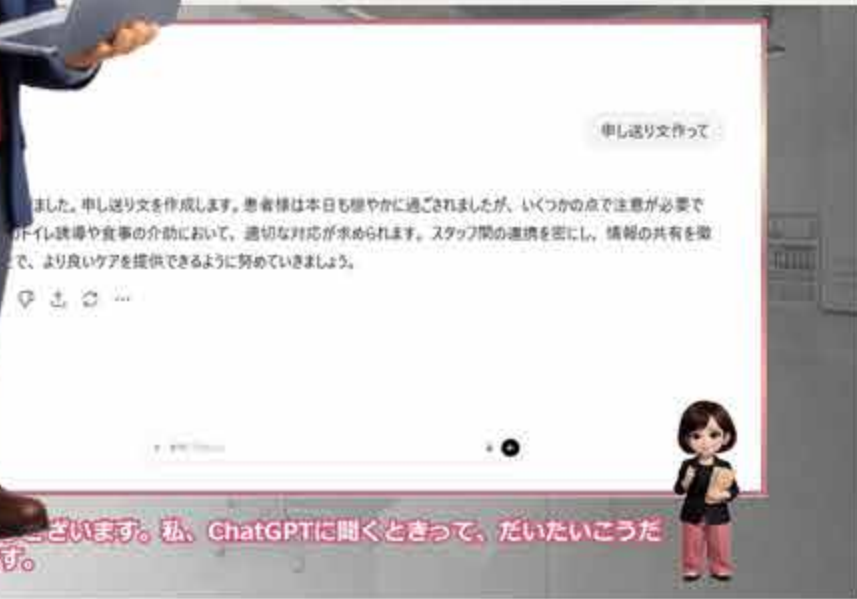
# 構成の特長



飽きやすく実務に活かしにくい研修の課題を解消し、楽しみながら自然に応用力が身につく構成です。

# ChatGPT業務活用編（2026/2リリース！）

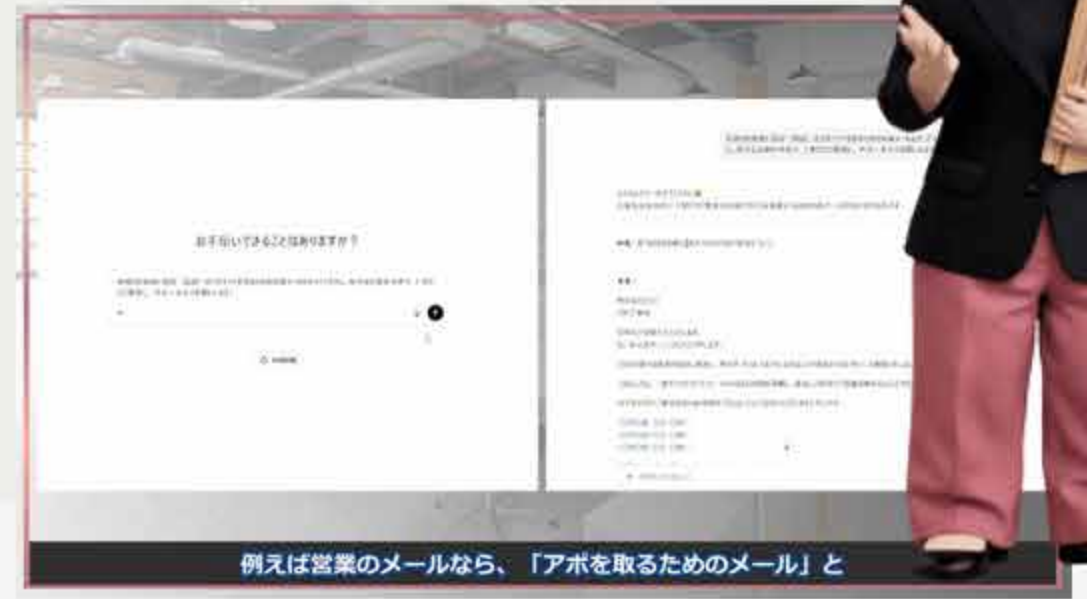
## FOCUS IS CHATGPT LEARNING



ありがとうございます。私、ChatGPTに聞くときって、だいたいこうだったんです。



うん、なんとなく分かるよ。プロンプトへ実際に「何をどう入力するか」だよな。



例えば営業のメールなら、「アポを取るためのメール」と



# ChatGPT業務活用編 AIの力で課題を解決するストーリー

本教材は、介護現場で起きがちな「記録」「家族説明」「申し送り」「資料作成」「クレーム対応」などを題材にストーリー形式（ケーススタディ）で、ChatGPTの業務活用について学ぶeラーニング教材です。

AIワークフロー	AIエージェント
人が作ったルールの上を走る	ゴールに合わせて動きを変える
A → B → C	Start → Target
例：申請処理・定型報告書作成等	例：問い合わせ対応・個別提案等
AIワークフロー：やり方が決まっている業務向け	AIエージェント：状況を見て考える必要がある業務向け

そう、そういう動きをする可能性はある。だからAIの出力には誤りが混ざる前提で、最後は人が確認するのが基本になるよ。

メモリ

保存されたメモリを参照する  
ChatGPT が回答するときにメモリを参照して使用することができます。

メモリ

長期的に有用な要点のみを保存し、チャット削除後もメモリとして残る

つまりチャットを消すと、そのチャットのやり取りは見返せなくなるけど、私についての要点がメモリとして残ることはある、ってことですね。

## FOCUS IS CHATGPT LEARNING

### 現場を疑似体験できる

ChatGPTの使いどころ・注意点・判断の順番を【現場の状況】としてストーリーで体感できる。

### 再現できる型が身につく

「よくある場面 → 失敗しやすいポイント → 改善の型」の流れで学び、理解にとどまらず明日から同じ場面で再現できる行動に落とし込める。

### 他業務にも展開できる

内容は汎用的に設計されているため、介護以外の業務にも適用可能。

# 各章で学べるAI

■ 全14章構成

■ 標準学習時間：約12時間

■ 全動画 120日間見放題

<b>1章</b>	生成AIの全体像（新人アシスタント視点） ・生成AIを「指示が必要な新人」と捉え、得意領域（下書き・整理・要約）を理解する	<b>8章</b>	音声入力での思考整理 ・声で未整理の情報を出し、要点整理と次の一手につなげる
<b>2章</b>	「それっぽいのにならぬ」理由 ・正しさは保証されない前提を学び、点検して仕上げる使い方を身につける	<b>9章</b>	GPTsでクレーム対応を型化 ・感情受容→事実整理→再発防止までを、ロールプレイで反復できるようにする
<b>3章</b>	ChatGPTの学習と記録の違い ・パーソナライズ／メモリ／会話記録を整理し、設定で管理できるようにする	<b>10章</b>	クイズで定着 ・クイズ作成・共有で復習を回し、使いながら育てる運用を学ぶ
<b>4章</b>	基本操作と段取り ・画面操作・履歴整理を押さえ、「たたき台→追加指示→仕上げ」の進め方を習得	<b>11章</b>	マークダウンで出力安定 ・目的・前提・形式を構造化して渡し、抜け漏れ・ブレを減らす
<b>5章</b>	画像活用 ・写真を起点に質問・加工等を行い、問いを立てて成果物につなげる	<b>12章</b>	セキュリティ／著作権 ・プラン・設定の違いを理解し、安全に使う判断軸を持つ
<b>6章</b>	PDF活用 ・PDFをアップして必要箇所を抽出し、「読む」から「質問して使う」へ転換する	<b>13章</b>	習慣化① ・忘却を前提に、日常で使い続ける仕組みを作る
<b>7章</b>	資料作成のはじめ方 ・目的・ゴールを言語化し、下書きを整えながら進める型を身につける	<b>14章</b>	習慣化② ・出力を再編集し、AIと自分の役割分担を判断できるようにする

# 学習管理システム（LMS）について

直感的に操作できるプラットフォーム設計により、スムーズに学習を進められ、受講完了後には修了証明書を発行



修了証明書



プラットフォーム

## 01. 直観的に分かりやすいデザイン

ユーザー視点を徹底し、誰にとっても理解しやすいシンプルかつ直観的なデザインを設計している

## 02. 結果の管理

各受講者の学習進捗および視聴履歴を記録しCSV形式でのデータ出力に対応している

## 03. 飛ばし見防止機能付き

学習効果を高めるための飛ばし見防止機能を搭載している

# サービス料金

## ChatGPT業務活用編・サービス料金（受講料金）



1人：33万円（税別）

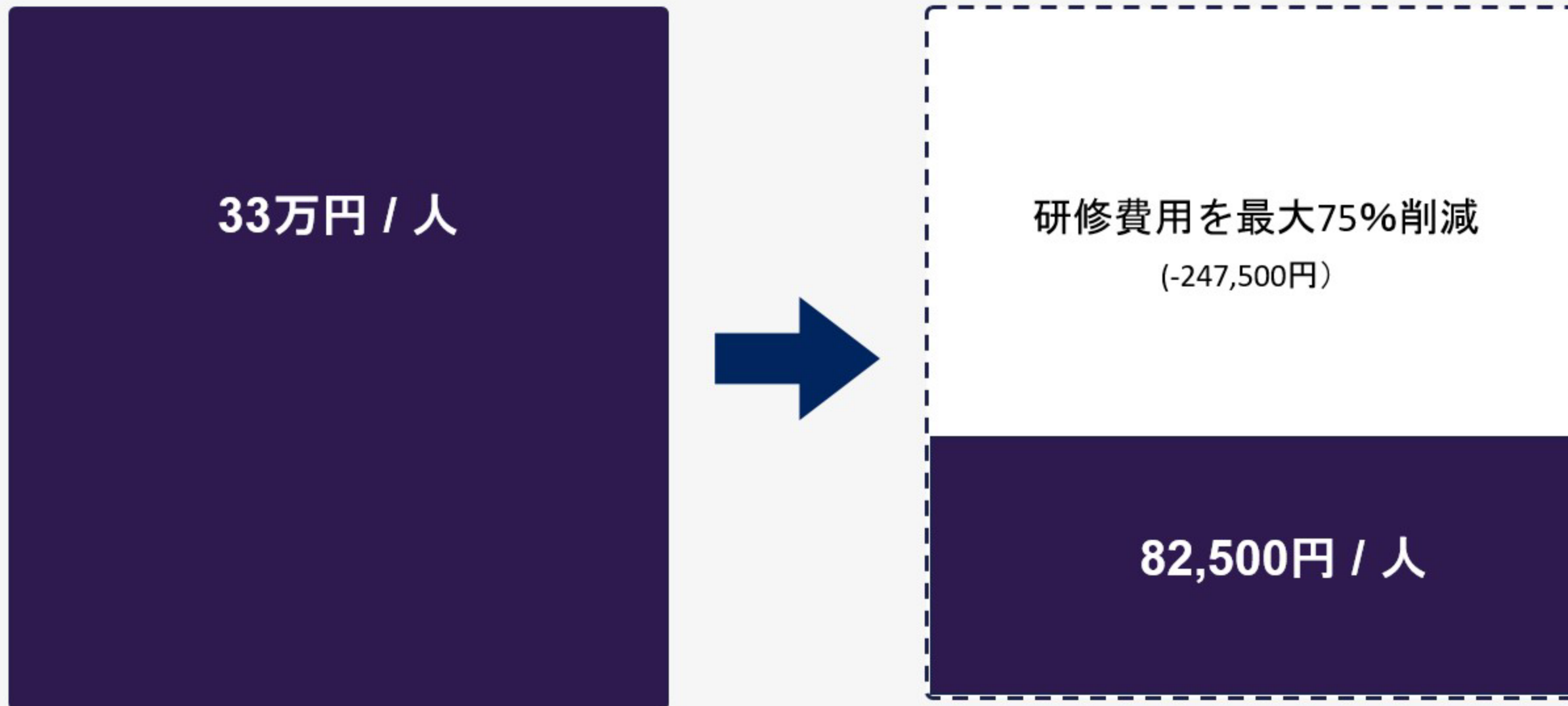
- AIの利活用に特化した研修を体系的にパッケージ化。LMS機能（学習管理システム）を備えたeラーニング動画形式
- 動画視聴後は日常業務へAIを取り入れた実践が容易となり、業務効率化を強力にバックアップ

# 助成金入金までの流れ



# 助成率・助成額について

厚生労働省の人材開発支援助成金一事業展開等リスクリング支援コースの申請が可能



※ 大企業は最大60%の助成となります。 (-198,000円)

# ありがとうございます

---

生成AIの急速な進化により、ビジネスの前提は大きく変わりつつあります。  
さらに助成金制度という強力な後押しがある今、企業がAI人材を本格的に育成できる絶好のタイミングです。

「様子を見る」段階はすでに終わり  
AIを使いこなせる組織かどうか、今後の生産性と競争力を左右します。

投資負担を抑えながら組織変革を進められる今こそ、AI人材育成に踏み出す最適な機会です。